

# 前回委員会における主な意見

---

# 前回委員会における委員からの主な意見

## カーボンニュートラル

- リサイクルの「質」を向上させるためには、指標を設定すべきではないか。
- コンクリート塊に関して、CO<sub>2</sub>を吸収するなどということによってむしろ質が上がっていくという方向で考えていくべきではないか。
- コンクリート塊を破砕してCO<sub>2</sub>を吸収する研究が行われており、他省庁と連携していくべき。

## 循環経済（サーキュラーエコノミー）

### <建設資材全般>

- 再資源化率などの指標を使用しているが、再資源化後に建設資材として利用されているのか、把握する必要がある。
- ICT技術を活用して、需給ギャップを解決できるようになることが望ましい。

### <建設汚泥>

- 建設汚泥の需給バランスが大きく崩れているため、解決すべきではないか。

### <廃プラスチック>

- 廃プラスチックは現場の分別をどのように実施していくかが課題である。
- 廃プラスチックは土砂などが付着しているためリサイクルを非常に難しくしている。分別するときに汚さないように取り扱うというような細かい配慮も必要ではないか。

## 循環経済（サーキュラーエコノミー）（つづき）

### ＜建設混合廃棄物＞

- 建設混合廃棄物の排出量を削減するために、まずは、組成を調査し、どの種類の廃棄物が多いか分析し、対策を検討すべきではないか。

### ＜コンクリート塊＞

- 最近、都心部で解体工事により発生したコンクリート塊が再生砕石の需要減少により、中間処理施設で滞留している。一方で、地方で公共工事により再生砕石の需要が多くある。
- コンクリート塊のリサイクル先である路盤材の需要量が地域によって状況が異なるのではないか。
- 都心部と地方部で需給ギャップが生じているのではないか。しかし、再生砕石などが不足している地域へ運んだ場合、コストとCO<sub>2</sub>排出量が増える。

## その他

- リサイクル市場の育成や技術開発など革新的な議論が必要ではないか。